

Ⅱ 教科の問題に関する結果

1 小学校

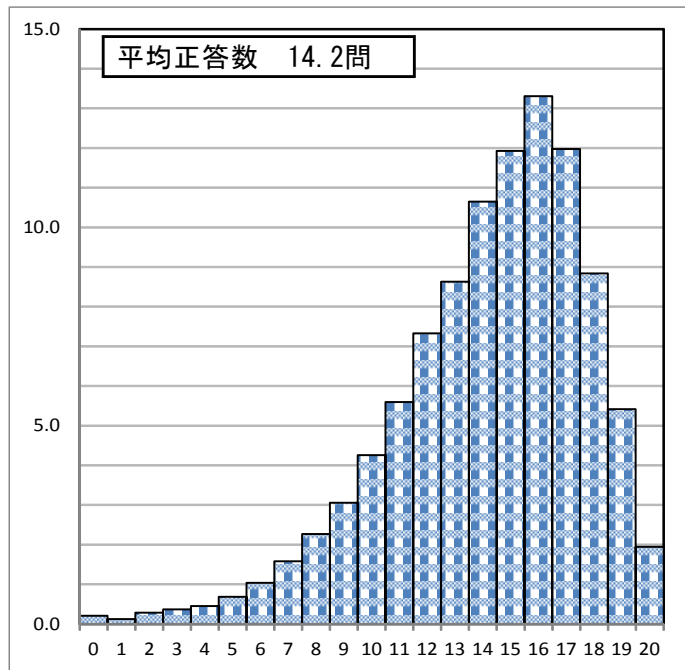
(1) 国語

【第3学年】

実施児童数	11,038 人
設問数	20 問
平均正答率	71.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	73.5
	主として「活用」	3	56.7
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	78.1
	書くこと	2	43.9
	読むこと	6	70.1
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	10	74.0
評価の 観点	話す・聞く能力	3	78.1
	書く能力	2	43.9
	読む能力	6	70.1
	言語についての 知識・理解・技能	9	75.3
問題形式	選択式	7	66.5
	短答式	11	78.8
	記述式	2	43.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



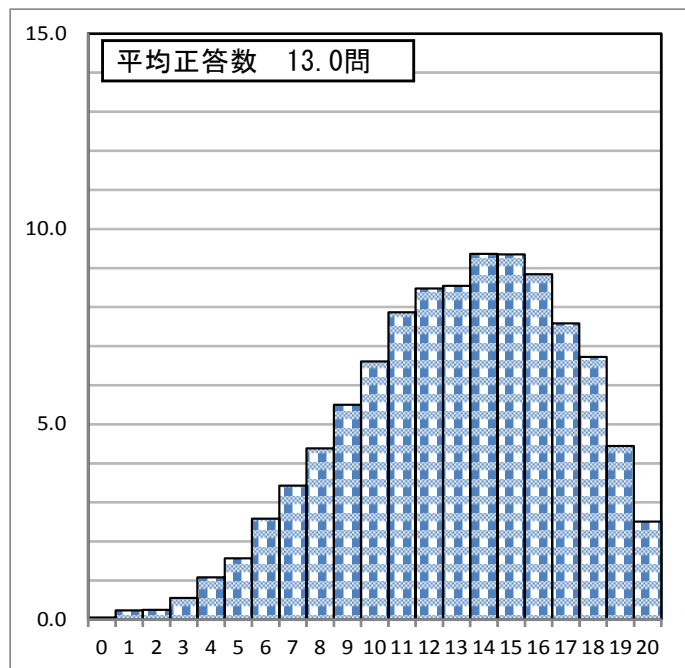
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第4学年】

実施児童数	10,991 人
設問数	20 問
平均正答率	65.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	69.1
	主として「活用」	5	53.0
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	50.9
	書くこと	5	61.3
	読むこと	4	56.6
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	10	71.1
評価の 観点	話す・聞く能力	3	50.9
	書く能力	5	61.3
	読む能力	4	56.6
	言語についての 知識・理解・技能	8	77.1
問題形式	選択式	8	59.7
	短答式	9	77.5
	記述式	3	42.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



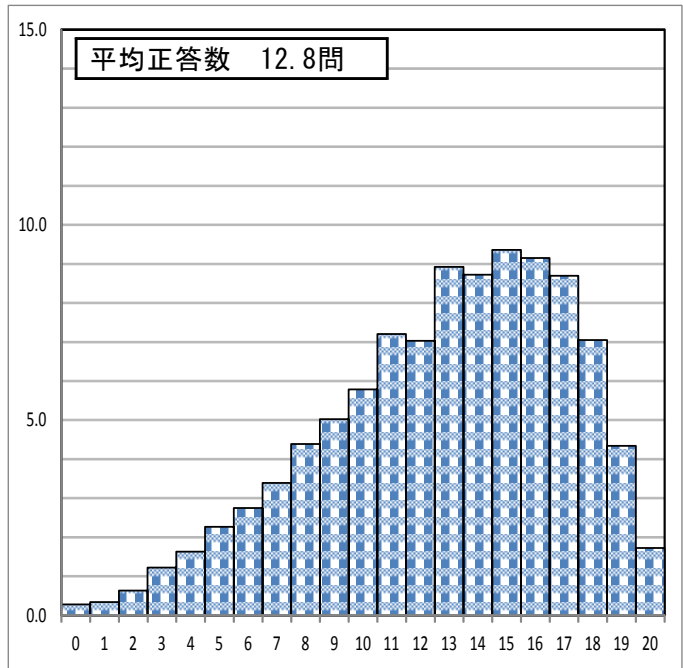
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,818 人
設問数	20 問
平均正答率	64.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	69.0
	主として「活用」	5	49.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	71.5
	書くこと	3	50.1
	読むこと	5	52.8
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	9	72.7
評価の観点	話す・聞く能力	3	71.5
	書く能力	3	50.1
	読む能力	5	52.8
	言語についての知識・理解・技能	9	72.7
問題形式	選択式	9	63.8
	短答式	8	71.4
	記述式	3	45.7

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



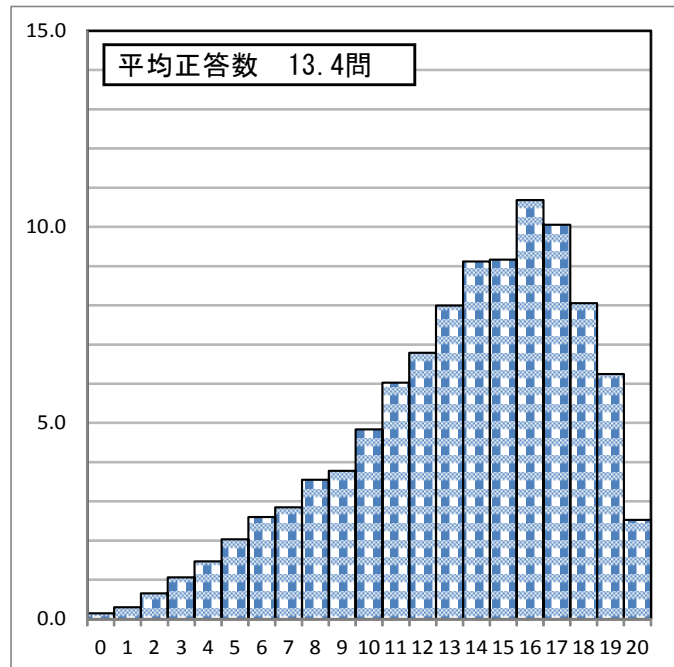
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	11,259 人
設問数	20 問
平均正答率	67.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	68.8
	主として「活用」	3	57.2
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	67.4
	書くこと	2	66.8
	読むこと	7	57.5
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	8	75.4
評価の観点	話す・聞く能力	3	67.3
	書く能力	2	66.7
	読む能力	7	57.5
	言語についての知識・理解・技能	8	75.4
問題形式	選択式	7	64.0
	短答式	10	72.1
	記述式	3	57.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについて、相当数の児童ができています。
 - ・「汽車（きしゃ）」（小3¹一：92.8%）
 - ・「相談（そうだん）」（小4¹一：97.0%）
 - ・「重ねる（かさねる）」（小5¹一：95.3%）
 - ・「清潔（せいけつ）」（小6¹一：95.7%）
- 国語辞典の正しい使い方を理解することについて、相当数の児童ができています。
 - ・国語辞典に出てくる順番で、最初に出る言葉を選択（小5¹四：88.2%）
- 話し合いの仕方を工夫することについて、相当数の児童ができています。
 - ・話し合いの様子から、工夫の説明として最も適切な文を選択（小5²一：80.7%）
- グラフを基に分かったことを的確に書くことについて、成果が見られる。
 - ・グラフから分かることを選択（小6⁴一：81.2%）
H28小6全国調査 43.5% 「グラフを基に分かったことを的確に書く」
- ローマ字を正しく書くことについて、改善の傾向が見られる。
（小4¹四：64.6% 小5¹三：62.8% 小6¹三：73.6%）
H28小6全国調査 50.9% 「平仮名で表記されたものをローマ字で書く」
- 接続詞の意味と用法について理解することについて、課題が見られる。
 - ・前後の文脈から適切な接続詞を選択（小3²二：62.1% 小4³一：42.1%）
- 主語と述語を捉えることについて、課題が見られる。
 - ・文中の主語と述語を選択
（小3¹二：52.5% 小4¹二：53.2% 小5¹二：45.9% 小6¹二：45.1%）
- 筆者の主張を捉えることについて、課題が見られる。
 - ・筆者の主張が最も強く表れている一文を書き出す。
（小6³二：27.8%）
- 文章の内容や構成を的確に捉えることに課題が見られる。
 - ・あらすじを順番どおりに並べ替えること（小6⁵二：44.4%）
 - ・指定された内容が書いてある段落を選択（小5³二：52.1%）
- 記述式の問題（条件等に即応した記述）について、課題が見られる。
 - ・自分の考えを具体的に書くこと
（小4⁴五：23.6%、小5⁴三：29.2%、小5⁵三：44.8% 小6⁴三：52.3%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【小学校3、4年生】

(小学校3、4年生共通問題)

- 主語と述語を捉えることに課題が見られる。

次の文の「主語」と「じゅつ語」はどれですか。アからエまでの中から一つずつ選び、記号を書きましょう。

ぼくは、 おばあちゃんに 手紙を 書いた。
ア イ ウ エ

【正答】
(主語) ア
(じゅつ語) エ

小3 : 52. 5% 小4 : 53. 2%

(小学校3年生)

- 接続詞の意味と用法について理解することに課題が見られる。

【話し合いのようす】の中の (あ) にあてはまることばを、アからエまでの中から一つえらび、記号を書きましょう。

ア そして イ だから ウ なぜなら エ しかし

【正答】 ウ

小3 : 62. 1%

(小学校4年生)

- 記述式の問題(条件等に即応した記述)について、課題が見られる。

田村さんは、電化せい品がふえてきたことに注目し、その理由について、記事にまとめることにしました。あなたならどのような記事を書きますか。田村さんになったつもりで、次のじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉
○「田村さんが考えたこと」をもとに書くこと。
○「です」「ます」などのていねいな言い方で書くこと。
○三十字以上、五十字以内で書くこと。

【正答】
くらしを便利で、安全にしようとする願いがあって、電化せい品がふえてきました。

小4 : 23. 6%

国語【小学校5、6年生】

(小学校5、6年生共通問題)

- 主語と述語を捉えることに課題が見られる。

次の文の「主語」と「述語」はどれですか。アからオまでの中から、一つずつ選び、その記号を書きましょう。

ぼくは 給食の 中では カレーが 好きだ。
ア イ ウ エ オ

【正答】
(主語) ア
(述語) オ

小5 : 45.9% 小6 : 45.1%

(小学校5年生)

- 文章の内容や構成を的確に捉えることに課題が見られる。

A——のくわしい内容が書かれているだん落として適切なものを、アからオの中から一つ選んで、記号を書きましょう。

ア ①② イ ③④⑤⑥⑦⑧ ウ ⑨⑩
エ ⑪⑫⑬ オ ⑮

【正答】エ

小5 : 52.1%

(小学校6年生)

- 筆者の主張を捉えることについて、課題が見られる。

説明文には、筆者の主張が書かれています。筆者の主張がもっとも強く表れている段落を本文の——部1から3までの中から一つ選んで番号を書きましょう。また、その段落の中から、筆者の主張がもっとも強く表れている一文を選び、初めと終わりの五文字を書き出しましょう。なお、読点(、)や句点(。)も字数にふくみます。

【正答】3 旅には危険 ~ しょうか。

小6 : 27.8%

- 記述式の問題(条件等に即応した記述)について、課題が見られる。

あなたが図書委員だったら、この報告文の内容からどの本を選びますか。
③に入れる本の組み合わせを次から選んで○でかこみ、選んだ理由が分かるように、④の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- ・ 〈図2〉の結果から考えて書くこと。
 - ・ 選んだ二つの分野の言葉を使って書くこと。
 - ・ 書き出しに続けて、三十字以上、五十字以内で書くこと。
- なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

【正答】略

小6 : 52.3%

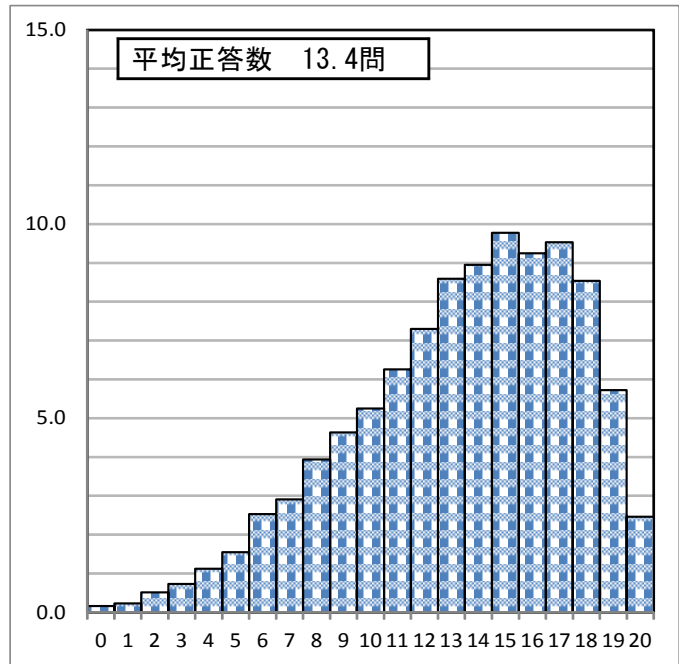
(2) 算数

【第3学年】

実施児童数	11,026 人
設問数	20 問
平均正答率	66.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	71.8
	主として「活用」	5	52.5
学習指導 要領の 領域等	数と計算	9	73.4
	量と測定	3	62.7
	図形	2	50.9
	数量関係	6	64.8
評価の 観点	数学的な考え方	4	51.5
	数量や図形についての技能	8	74.9
	数量や図形についての知識・理解	8	66.7
問題形式	選択式	6	65.3
	短答式	12	70.7
	記述式	2	49.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



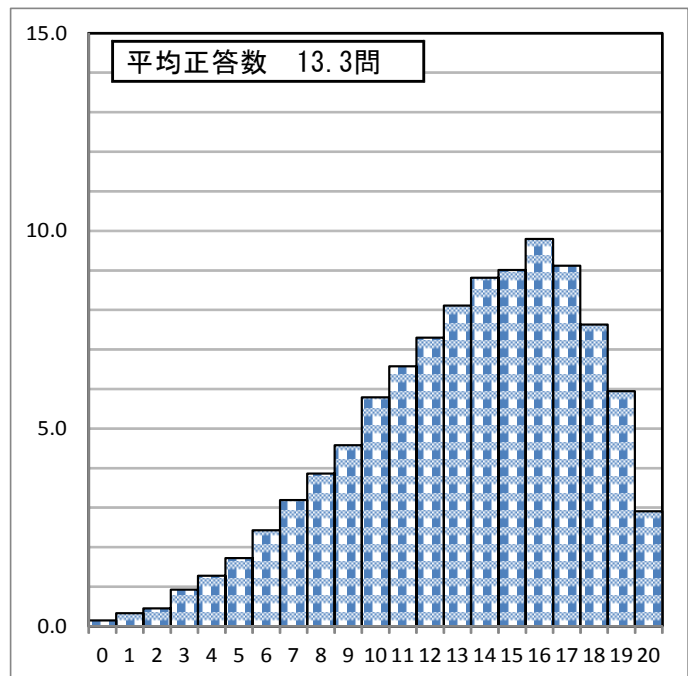
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第4学年】

実施児童数	10,992 人
設問数	20 問
平均正答率	66.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	71.0
	主として「活用」	5	53.0
学習指導 要領の 領域等	数と計算	11	73.5
	量と測定	3	59.4
	図形	2	54.0
	数量関係	4	58.6
評価の 観点	数学的な考え方	5	53.0
	数量や図形についての技能	9	75.1
	数量や図形についての知識・理解	6	64.7
問題形式	選択式	5	62.2
	短答式	13	73.0
	記述式	2	35.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



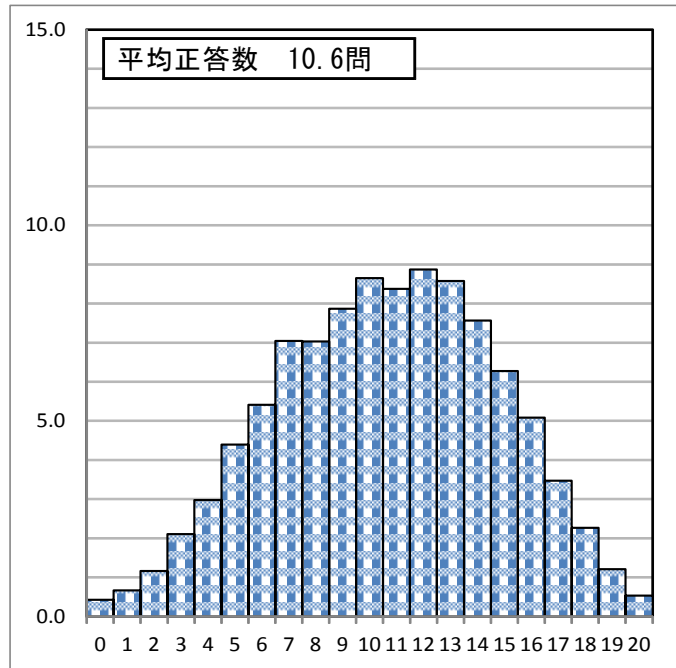
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,819 人
設問数	20 問
平均正答率	53.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	55.9
	主として「活用」	6	46.8
学習指導 要領の 領域等	数と計算	10	56.8
	量と測定	3	47.6
	図形	3	58.0
	数量関係	4	44.7
評価の 観点	数学的な考え方	6	43.1
	数量や図形についての技能	9	63.1
	数量や図形についての知識・理解	5	47.4
問題形式	選択式	6	50.9
	短答式	11	62.4
	記述式	3	24.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



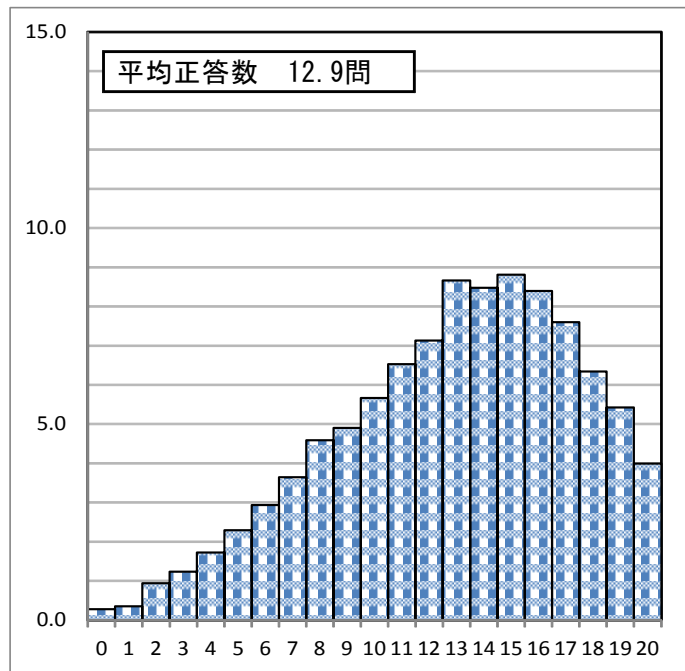
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	11,287 人
設問数	20 問
平均正答率	64.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	68.3
	主として「活用」	7	57.0
学習指導 要領の 領域等	数と計算	11	60.6
	量と測定	3	56.6
	図形	3	82.8
	数量関係	3	67.4
評価の 観点	数学的な考え方	7	54.3
	数量や図形についての技能	10	72.3
	数量や図形についての知識・理解	3	61.4
問題形式	選択式	4	66.5
	短答式	13	67.3
	記述式	3	48.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な四則計算や数のしくみの理解に成果が見られる。
 - ・繰り上がりのある加法の計算をすること (小3 $\boxed{1}$ (1) : 88.4%, 小4 $\boxed{1}$ (1) : 93.6%)
 - ・除法の計算をすること (小3 $\boxed{1}$ (4) : 92.8%)
 - ・余りのある除法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (5) : 86.7%)
 - ・同分母の分数の減法の計算をすること (小5 $\boxed{2}$ (4) : 87.1%)
 - ・小数の減法の計算をすること (小6 $\boxed{1}$ (1) : 89.4%)
 - ・分数と整数の乗法を計算して約分すること (小6 $\boxed{1}$ (6) : 87.9%)
 - ・不等号を使って数の大小関係を表すこと (小3 $\boxed{2}$ (2) : 92.6%)

- 数量関係や図形の基本的な内容の理解に成果が見られる。
 - ・除法の式を立式し、もとになる量の何倍になるかを求めること (小4 $\boxed{5}$: 81.8%)
 - ・折れ線グラフを読むこと (小4 $\boxed{10}$ (1) : 81.5%)
 - ・立方体の展開図で正しい面の位置を考えること (小5 $\boxed{6}$: 84.2%, 小6 $\boxed{11}$: 88.1%)
 - ・点対称な図形をかくこと (小6 $\boxed{5}$: 86.1%)

- 図形の構成やかき方、単位の換算、除法のきまりに課題が見られる。
 - ・三角形をもとに図形の構成を考えること (小3 $\boxed{8}$ (2) : 44.2%)
 - ・合同な三角形の正しいかき方を選択すること (小5 $\boxed{3}$ (3) : 30.5%)
 - ・単位をそろえて直方体の体積を求めること (小5 $\boxed{1}$ (5) : 20.2%)
 - ・被除数と除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解すること (小5 $\boxed{1}$ (2) : 15.5%)
 - ・商が被除数より大きくなるように除数をつくること (小6 $\boxed{2}$: 38.3%)

- 問題場面を読み取って式に表すことに課題が見られる。
 - ・問題場面を読み取り乗法の意味を正しく表す図を選択すること (小4 $\boxed{4}$: 46.8%)
 - ・表から数量の関係を読み取り、文字を使った関係式に表すこと (小6 $\boxed{12}$: 48.9%)

- 割合の内容の理解に引き続き課題が見られる。
 - ・2つの数量の関係を図と関連付けて考えること (小5 $\boxed{5}$ (1) : 41.4%, 小6 $\boxed{8}$ (1) : 42.6%)
 - ・比較量から基準量を求める式を立式すること (小6 $\boxed{8}$ (2) : 43.6%)

- 問題場面から情報を整理し、理由や方法等を説明することに引き続き課題が見られる。
 - ・目盛をもとに数直線上の数値を読み取る方法を説明すること (小3 $\boxed{5}$: 31.1%)
 - ・グラフを比べて読み取り、示された事柄が正しくない理由を説明すること
(小4 $\boxed{10}$ (2) : 24.4%, 小5 $\boxed{7}$: 27.8%)
 - ・1回転した角を等分した角度の求め方を式と言葉を使って説明すること (小4 $\boxed{11}$: 45.8%)
 - ・平行四辺形を12枚敷き詰めると最小のひし形となる理由を記述すること (小5 $\boxed{8}$: 21.5%)
 - ・式の形から計算しなくても結果の大小が比較できる理由を説明すること (小5 $\boxed{9}$ (2) : 23.0%)
 - ・概数の表す範囲について言葉や数を使って説明すること (小6 $\boxed{13}$: 27.6%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

算数【小学校3年生】

- 目盛をもとに数直線上の数値を読み取る方法を説明することに課題が見られる。

5 下の数直線を見て、問題に答えましょう。

⑦にあたる数について考えています。
目もりを表す数が、1つしかないで、⑦にあたる数は、いろいろと考えられます。

【あやさんのせつ明】
わたしは、の中に10000を入れました。
10000と20000の間には、目もりが10あるので1目もりの大きさは、1000になります。
⑦は、20000の目もりの2つ右だから、22000になります。

【問題】
もえさんは、の中に19000を入れました。の中に19000を入れると、⑦にあたる数はいくつになるでしょう。
もえさんのせつ明を下の文につづけて、あやさんのせつ明のように書きましょう。

【もえさんのせつ明】
わたしは、の中に19000を入れました。

【正答例】
19000と20000の間は1000で、目もりが10あるので、1目もりの大きさは、100になります。
⑦は、20000の目もりの2つ右だから、20200になります。

小3 : 31. 1%

【小学校4年生】

- 問題場面を読み取り、乗法の意味を正しく表す図を選択することに課題が見られる。

4 下の問題をとくために、ゆうたさんは、図をかいて考えることにしました。

【問題】
あめのつかみ取り大会に参加しました。
ひろとさんは、あめを4ことりました。
ちかさんは、ひろとさんの2倍のあめをとりました。
れいこさんは、ちかさんの3倍のあめをとりました。
れいこさんは、あめを何ことったでしょう。

ゆうたさんは、下のアからエの4つの図を考えました。この中から、正しい考え方の図を2つえらんで、その記号を書きましょう。

ア

イ

ウ

エ

⑫ 【正答】イ と エ

小4 : 46. 8%

【小学校4・5年生】

- グラフをもとに、示された事柄が正しくない理由を説明することに課題が見られる。

10 さくらさんの学校の4年生は、長なわとび大会にむけて、練習をしています。
各学級で、練習の成果をたしかめるために、毎月1回、長なわをとんだ回数の記録をとっています。
4月から7月までの4か月間の長なわとびの記録の変化の様子を調べ、グラフごとに折れ線グラフにまとめました。

4年1組 長なわとびの記録

4年2組 長なわとびの記録

さくらさん

4年1組にくらべて4年2組のほうが、6月から7月までの線のかたむきが急です。
だから、4年1組にくらべて4年2組のほうが、6月から7月までの長なわをとんだ回数のふえかたは、大きいです。

さくらさんが言っている、 部のことは正しくありません。
そのわけを、グラフから読み取れる長なわをとんだ回数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

⑬ わけを言葉や数を使って書きましょう。

【正答例】
6月から7月までに長なわをとんだ回数は、1組が60回、2組が40回増えていて、2組より1組の方が増え方がおおいからです。

(2) さくらさんは、左の2つのグラフの、6月から7月までの長なわとびの記録の変化の様子を見くらべて、次のように言いました。

小4 : 24. 4% 小5 : 27. 8%

【小学校5年生】

- 被除数と除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解することに課題が見られる。

(2) にあてはまる数を、下のアからウの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

$$\begin{array}{ccccccc} 2.4 & \div & 0.3 & = & (&) & \\ \downarrow 10\text{倍} & & \downarrow 10\text{倍} & & \downarrow \text{□倍} & & \\ 24 & \div & 3 & = & 8 & & \end{array}$$

ア 1
イ 10
ウ 100

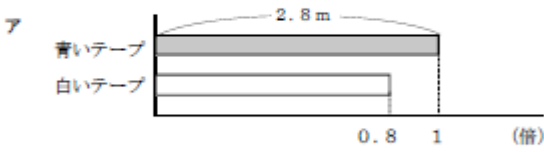
【正答】ア

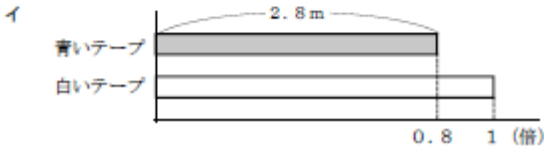
小5 : 15. 5%

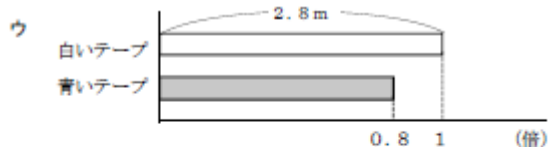
- 2つの数量の関係を図と関連付けて考えることに課題が見られる。

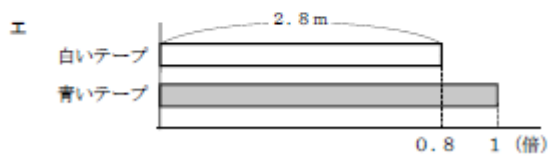
5 青いテープと白いテープがあります。
青いテープの長さは2.8mです。
白いテープの長さは、青いテープの長さの0.8倍です。

(1) 青いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれですか。下のアからエの図の中から1つ選んで、記号で答えましょう。

ア 

イ 

ウ 

エ 

【正答】ア

小5 : 41. 4%

- 式の形から、計算しなくても結果の大小が比較できる理由を説明することに課題が見られる。

9 体育で走りはばとびの学習をしています。
走りはばとびの記録は、「立ち幅とびの記録」と「50m走の記録」に関係があると言われています。
次の式で計算すると、走りはばとびのめあてとなるきよりが何cmになるかがわかります。

走りはばとびのめあてとなるきよりの求め方

立ち幅とびの記録 (cm) の1.5倍に280 (cm) を足し、50m走の記録(秒)の25倍を引きます。

【式】 (立ち幅とびの記録 × 1.5) + 280 - (50m走の記録 × 25)

	立ち幅とびの記録 (cm)	50m走の記録 (秒)
たつや	150	8.0
まさお	160	8.0

(2) まさおさんも、左の式を使って、自分のめあてとなるきよりを計算して求めようとしています。
たつやさんは、たつやさんとまさおさんの立ち幅とびと50m走の記録を見て、次のように言いました。

まさおさんのめあてのきよりは、ぼくのめあてのきよよりも長くなるのが、計算をしなくてもわかるね。

たつやさん

たつやさんは、なぜ「長くなるのが、計算をしなくてもわかる」と言ったのですか。
そのわけを、言葉や式を使って書きましょう。

【正答例】 2人とも50m走の記録が同じなので、めあてを求める式の立ち幅とび×1.5だけで比べればよい。立ち幅とびの記録はまさおさんの方が長いから、めあてのきよりもまさおさんの方が長くなるのが分かる。

小5 : 23. 0%

【小学校6年生】

- 商が被除数より大きくなるように除数をつくることに課題が見られる。

2 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7のカードが1枚ずつあります。

下の式の □ の中にカードを1枚ずつあてはめて、式をつくります。

商が $\frac{3}{10}$ より大きくなるのは、□ にどのカードをあてはめたと
きでしょうか。

あてはまるカードの数字をすべて書きましょう。

$$\begin{array}{r} 3 \\ \hline 10 \end{array} \div \frac{\square}{5}$$

【正答】 1, 2, 3, 4

小6 : 38. 3%

- 2つの数量の関係を図と関連付けて考えること、比較量から基準量を求めることに課題が見られる。

8 青いテープと白いテープがあります。
青いテープの長さは2.8mです。
青いテープの長さは、白いテープの長さの0.8倍です。

(1) 青いテープと白いテープの長さを正しく表している図はどれですか。下のアからエの図の中から1つ選んで、記号で答えましょう。

ア

0.8 1 (倍)

ウ

0.8 1 (倍)

イ

0.8 1 (倍)

エ

0.8 1 (倍)

(2) 白いテープの長さを求める式を書きましょう。
計算する必要はありません。

【正答】 (1)イ
(2) $2.8 \div 0.8$

小6 : (1) 42. 6% (2) 43. 6%

- 表から数量の関係を読み取り、文字を使った関係式に表すことに課題が見られる。

12 下の図のように、長方形と正方形の紙が重なっています。
正方形の紙を1から4のように動かしたときにできる②と④の角について考えています。

表にして考えてみることにしました。

②の角度	0	10	20	30	...
④の角度	270	260	250	240	...

②の角度を x° 、④の角を y° としたとき、 x と y の関係を表す式を書きましょう。

【正答】 $x + y = 270$

小6 : 48. 9%

- 概数の表す範囲について、言葉や数を使って説明することに課題が見られる。

13 平成27年11月1日に行われた第8回下関海きょうマラソンで、フルマラソンの部に出場した人は、約9500人でした。この数は、四捨五入で百の位までのがい数にしたものです。

ゆきさんのクラスでは、この数について話し合っています。

フルマラソンの部の出場者の数を、四捨五入で百の位までのがい数にしたとき、約9500人ということは、出場者は、9500人以上9549人以下ということでしょうか。みなさん、どう思いますか。

先生

その通りです。ゆきさん、よく気がつきましたね。

先生

ゆきさんは、先生が言っている_____の部分について、間違っているとっています。

ゆきさんの発言を、「なぜなら、・・・」に続けて、言葉や数を使って書きましょう。

先生

先生、それは間違っていると思います。なぜなら、・・・

【正答例】
四捨五入して百の位までのがい数にしたときに9500人になるのは、一番少なくて9450人、一番多くて9549人だから。

小6 : 27. 6%

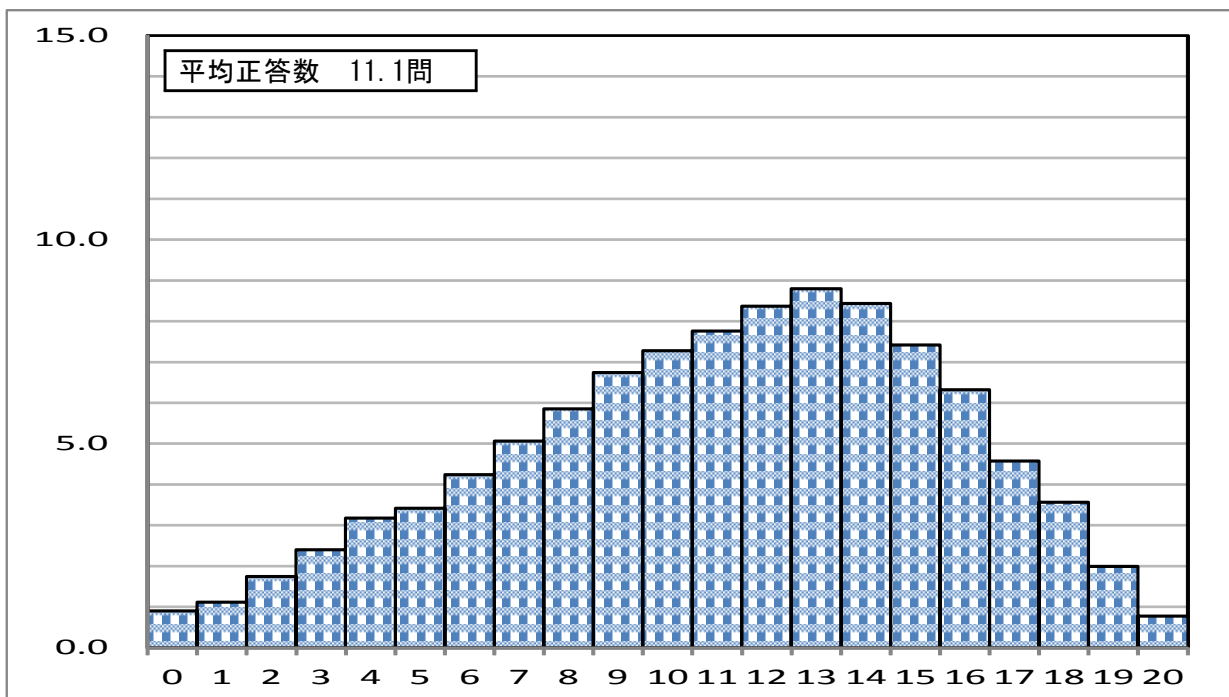
(3) 社会

【第5学年】

実施児童数	10,810 人
設問数	20 問
平均正答率	55.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	59.0
	主として「活用」	7	48.9
学習指導 要領の 領域等	身近な地域	2	61.1
	地域の生産や販売	3	66.5
	地域の人々の健康な生活	0	—
	地域の人々の安全	2	65.9
	地域の古い道具、文化財や年中 行事	0	—
	県の地形や産業	4	52.1
	我が国の国土	4	50.7
	我が国の農業や水産業	5	49.0
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	5	52.6
	資料活用の技能	9	54.5
	社会的事象についての知識・理解	6	59.4
問題形式	選択式	8	55.3
	短答式	9	53.6
	記述式	3	61.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 大陸の名前と位置に関しては、知識・理解の定着が見られる。
 - ・日本の西側にある大陸の名前を理解すること (〔6〕ア86.2%)
- 身近な商業施設の特色など、学習の対象が身近な場合には、知識・理解の定着が見られるとともに、資料の読み取りについても一定の成果が見られる。
 - ・会話から、買い物の仕方の特色を読みとること (〔2〕(1)74.2%)
 - ・店員の服装の違いに注目して、それぞれの役割や気を付けていることについて説明すること (〔2〕(3)73.9%)
 - ・話し合いの様子から、警察署の見学メモに当てはまる語句を読み取ること (〔4〕(1)73.1%)
- 複数の資料を関連付けて必要な情報を読み取ることによって課題が見られる。
 - ・資料(雨温図と地図)をもとに、帯広市と那覇市の気候の違いについて説明した文の空欄に適切な語句を答えること (〔7〕(1)30.3%)
 - ・複数の雨温図の中から上越市の雨温図を選ぶこと (〔7〕(2)24.7%)
- 条件に合う都道府県を示すことによって課題が見られる。
 - ・表を参考に、条件に合う都道府県を指示通りに示すこと (〔8〕(1)①37.5%)
- 県内の市町の位置及び名前に関する知識・理解の定着に課題が見られる。
 - ・県内の市の数を答えること (〔5〕イ46.9%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

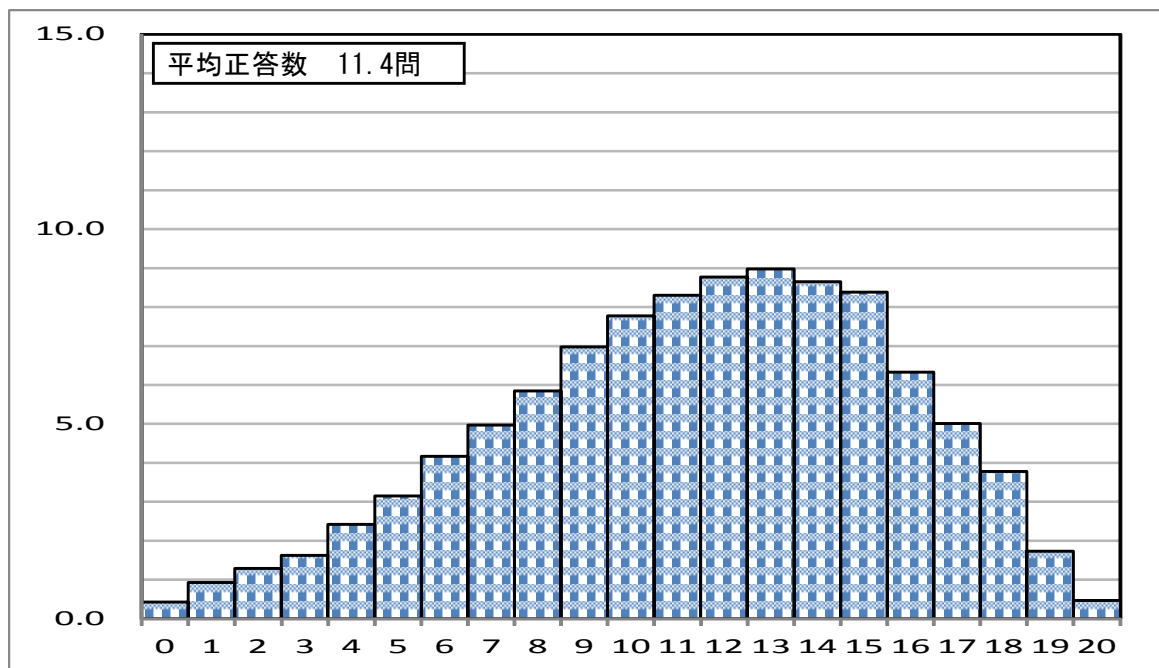
(4) 理科

【第5学年】

実施児童数	10,816 人
設問数	20 問
平均正答率	56.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	58.7
	主として「活用」	7	53.5
学習指導 要領の 領域等	物質	2	68.8
	エネルギー	5	57.4
	生命	11	53.3
	地球	2	63.2
評価の 観点	科学的な思考・表現	6	51.7
	観察・実験の技能	4	50.9
	自然事象についての知識・理解	10	62.4
問題形式	選択式	7	63.6
	短答式	6	59.4
	記述式	7	48.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 素材による電気伝導性の理解に成果が見られる。
 - ・ 電気回路のスイッチに用いるのにふさわしい材質について理解すること (7) (1) 81.1%
- 実験のための条件制御について課題が見られる。
 - ・ 正しい実験を行うために、必要な条件制御について記述すること (2) (2) 37.2%
- 植物の発芽についての理解に課題が見られる。
 - ・ 発芽に必要な養分をたくわえる種子の部分の名称と、でんぷんの有無を調べる方法を理解すること (3) (1) 25.7%
 - ・ 植物がよく育つための条件について理解すること (3) (3) 46.5%
- 乾電池のつなぎ方について作図することに課題が見られる。
 - ・ 乾電池の直列つなぎについて基礎的な用語を理解し、作図によって表現すること (7) (2) 36.0%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【小学校5年生】

● 実験のための条件制御について課題が見られる。

(2) 次に発芽と温度の関係について、下の図のような実験の準備をしたところ、先生から「実験の条件がそろっていませんよ。」と言われました。そこで、Eのインゲンマメと実験の条件をそろえるために、20℃くらいの部屋に置いたFのインゲンマメにしたことを答えましょう。

○発芽と温度の関係

【正答例】
箱をかぶせて光を当てないようにする

種子	温度	空気	水	結果
E	温度を低くする	ふれている	あたえる	発芽しなかった
F	部屋の空気の温度と同じ			発芽した

小5 : 37. 2%

● 乾電池のつなぎ方について作図することに課題が見られる。

(2) せん風機の風を強くするために、かん電池をもう一つ用意しました。2個のかん電池をどのようにつないだら、風が強くなるでしょうか。次の図のせん風機とかん電池を線でつなぎましょう。また、そのつなぎかたは、何つなぎというのでしょうか。答えは、解答用紙の□の中に答えを書きましょう。

【正答例】

直列 つなぎ

小5 : 36. 0%